



MH-400 コンベア/スイベル/キャディ

モデル番号 44938

オペレーターズマニュアル

⚠ 警告

カリフォルニア州

第65号決議による警告

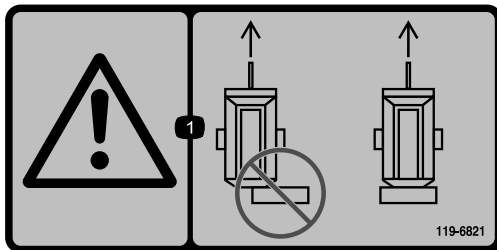
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしております。

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



119-6821

decal119-6821

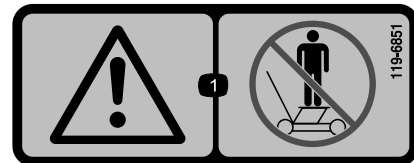
1. 警告 コンベアを伸ばしたままで搬送しないこと搬送する時は必ずコンベアを収納すること。



119-0217

decal119-0217

1. 警告 エンジンを止めること可動部に近づかないこと 全部のガード類を正しく取り付けておくこと。



119-6851

decal119-6851

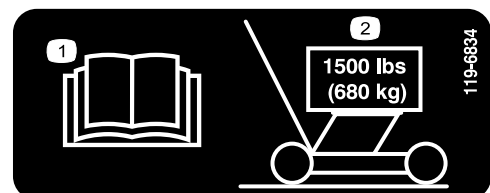
1. 警告 乗らないこと。



119-6810

decal119-6810

1. オペレーターズマニュアルを読むこと
2. 持ち上げは二人掛かりで行うこと。

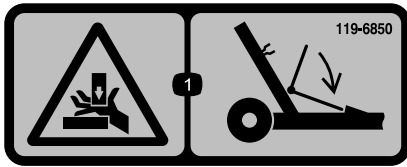


119-6834

decal119-6834

1. オペレーターズマニュアルを読むこと。
2. 最大積載重量は 680 kg





decal119-6850

119-6850

1. 手を押しつぶされる危険安全スタンド・ロックを使用すること。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	オプション・キャディ	1	オプション・キャディを組み立てます
	ハンドル	1	
	ピン	1	
2	ハンドル	2	クロス・コンベアを組み立てます
	ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	8	
	フランジ・ロック・ナット (1/4")	8	
3	必要なパーツはありません。	—	オプション・キャディの使用方法
4	必要なパーツはありません。	—	クロス・コンベア/スィベルを取り付けます
5	必要なパーツはありません。	—	油圧ホースを接続します

その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル	1	組み立てや運転操作の説明書です
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。

1

オプション・キャディを組み立てる

この作業に必要なパーツ

1	オプション・キャディ
1	ハンドル
1	ピン

手順

注 組み立て作業に取り掛かる前に、出荷用の木材やバンド類をすべて外してください。

1. オプション・キャディにハンドルを取り付けてピンで固定する [図 1](#)。

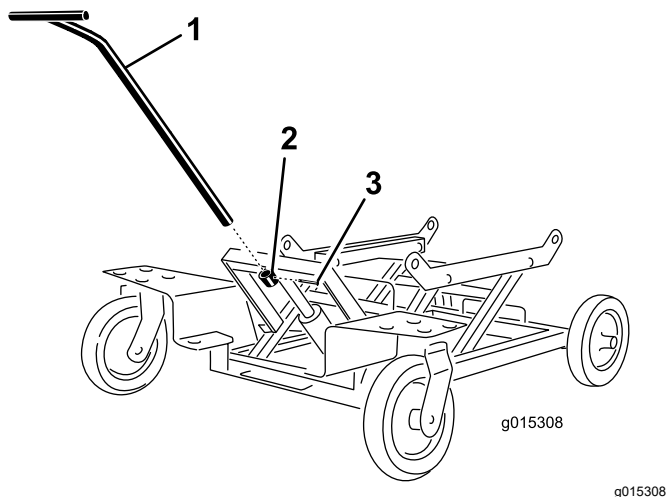


図 1

1. ハンドル
2. オプション・キャディ
3. ピン

2. 全部のタイヤの空気圧が 30 psi/206 kPa=2.1 kg/cm²になっていることを確認する。

2

クロス・コンベアを組み立てる

この作業に必要なパーツ

2	ハンドル
8	ボルト 1/4 x 3/4"
8	フランジ・ロック・ナット (1/4")

手順

ボルト 1/4 x 3/4 インチ、フランジ・ロックナット各 4 を使って、クロス・コンベアのサイド・レールの下にハンドルを取り付ける [図 2](#)。

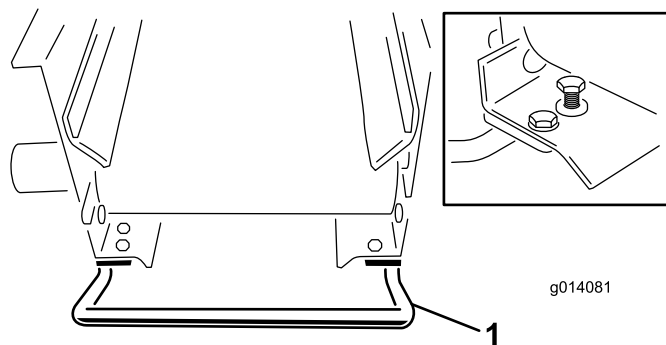


図 2

1. コンベアのハンドル

3

オプション・キャディの使用方法

必要なパーツはありません。

手順

オプション・キャディを使うと、一人で、クロス・コンベア/スイベルを MH-400 に取り付けることができます。

警告

オプション・キャディの最大積載重量は 680 kg です。ただし、人を乗せないでください。

1. オプション・キャディにクロス・コンベア/スイベルを載せる。

2. MH-400 の後部へ運び、取り付け高さまで上げる。

▲ 注意

クロス・コンベア/スイベルが載っている間はその場を離れないでください。

3. クロス・コンベア/スイベルを MH-400 のクイックアタッチ・ブラケットに取り付ける「クロス・コンベア/スイベルを取り付ける」を参照。
4. キャディを降下させ、後退させてクロス・コンベア/スイベルから完全に離す。

注 ぬかるみや柔軟土壌でキャディを使用しないでください身動きできなくなる可能性があります。

4

クロス・コンベア/スイベルを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

スイベルを使って MH-400 の周囲 270 度のどの位置にでもクロス・コンベアを向けることができ、また、所定の旋回角度 45 度間隔でロックすることができます。そしてその位置にクロス・コンベアから資材を投下することができます。

注 MH-400 には、クイック・アタッチ・クランプ一組が付属品としてついてきます。このクランプを使って、クロス・コンベア/スイベルを MH-400 に取り付けます。

1. スイベルキットの 2 つの取り付けブラケットが後方を向くように MH-400 に背を向けるようにクロス・コンベア/スイベルをセットする。
2. クロス・コンベア/スイベルが左右の取り付けブラケットの真ん中にセットされていること、および、モータが MH-400 と同じ側に伸びていることを確認する。
3. クランプのハンドルから、安全ラッチクリップを外す [図 3](#)。
4. 安全ラッチを立て、アタッチメント側のクランプハンドルを開いてロックピンからロックリングを外す [図 3](#)。
5. クイックアタッチスロットから、後クランプアセンブリを引き出す [図 3](#)。
6. 誰かに補助してもらってクロス・コンベア/スイベルを持ち上げ、その前端を MH-400 の下にある前クランプ・ブラケットにセットする [図 3](#)。

7. クロス・コンベア/スイベルを保持したまま、後クランプアセンブリをクイックアタッチスロットに戻し、クロス・コンベア/スイベル後端部にセットする [図 3](#)。
8. クロス・コンベア/スイベルが、左右のブラケットの中央に位置していることを確認する。確認できたら、ロック・リングをロック・ピンに掛け、クランプ・ハンドルを押し下げる。

注 クランプ・アセンブリがゆるすぎてクロス・コンベア/スイベルがガタつく場合には、ロック・リングを数回回転させて、クロス・コンベア/スイベルが無理なく固定される程度にクランプを短くしてください。

重要 クランプを締めすぎないように注意してください。締め付けすぎるとクロス・コンベア/スイベルの端部を曲げてしまう恐れがあります。

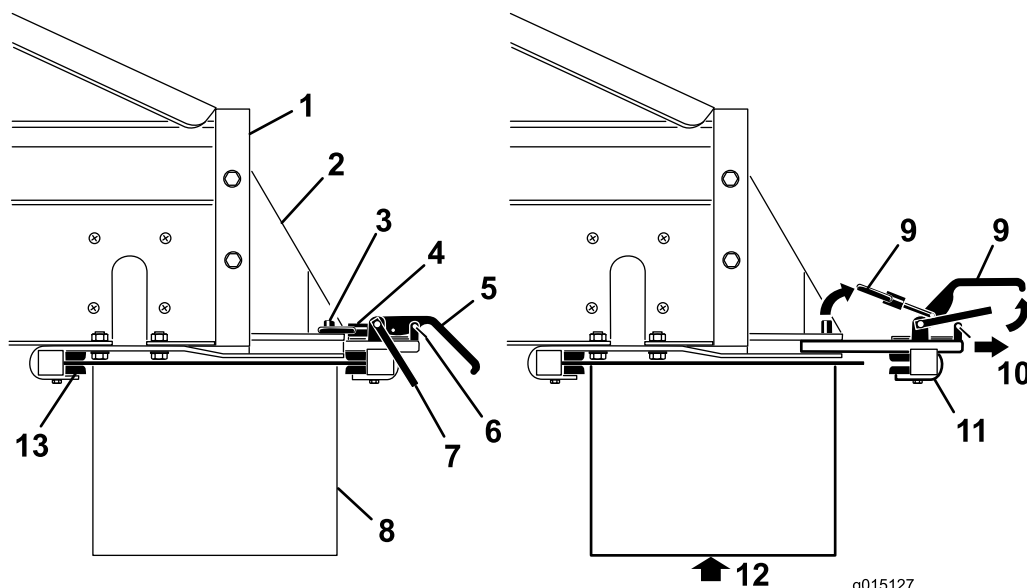
9. クランプのハンドルに、安全ラッチクリップを元通りに取り付ける [図 3](#)。

▲ 注意

安全ラッチクリップが確実に取り付けられていることを確認してください。万一ゆるんでいると、使用中に開いてしまう危険があります。

▲ 警告

クロス・コンベア/スイベルは非常に重い機械です。持ち上げるときには必ず二人がかりで作業をしてください。



g015127

g015127

図 3

1. MH-400 の後部
2. オプションアタッチメント用ブラケット
3. ロックピン
4. ロックリング
5. クランプハンドル
6. 安全ラッチのクリップ
7. 安全ラッチ

8. オプション
9. 持ち上げる
10. 引き出す
11. 後クランプアセンブリ
12. オプションを確実に保持してからクランプを外すこと
13. 前クランプブラケット

5

油圧ホースを接続する

必要なパーツはありません。

手順

▲ 警告

クロス・コンベア/スイベルが突然に動作することのないよう、油圧ホースを接続する前に、牽引トラクタ側のエンジンが停止していることを確認すること。

以下の手順で、油圧ホースを、MH-400 のオプションコントロールバルブに接続します 図 4

- メスの外側コネクタのスリーブを手前に引いてあるいは芯側を前方に押し出して、オス側に接続する。
- オス側のコネクタをしっかり握ったまま、メス側のコネクタのスリーブから手を離す。

- コネクタが完全に接続されてロック状態にあることを確認する。油圧ホースが水平であることを確認する。
- 牽引トラクタの油圧装置を起動させた後、SH モデルの場合はオプション用コントロール・レバーを手前にひき、EH モデルの場合には、無線リモコンのスタート・ボタンを押すと、クロス・コンベア/スイベルが動作を開始するので、クロス・コンベア/スイベルの動作状態を確認する。

▲ 警告

- 油圧系統のラインコネクタは頻繁に点検してください。油圧を掛ける前に、油圧ラインの接続やホースの状態を確認してください。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけないでください。リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽を起こします。

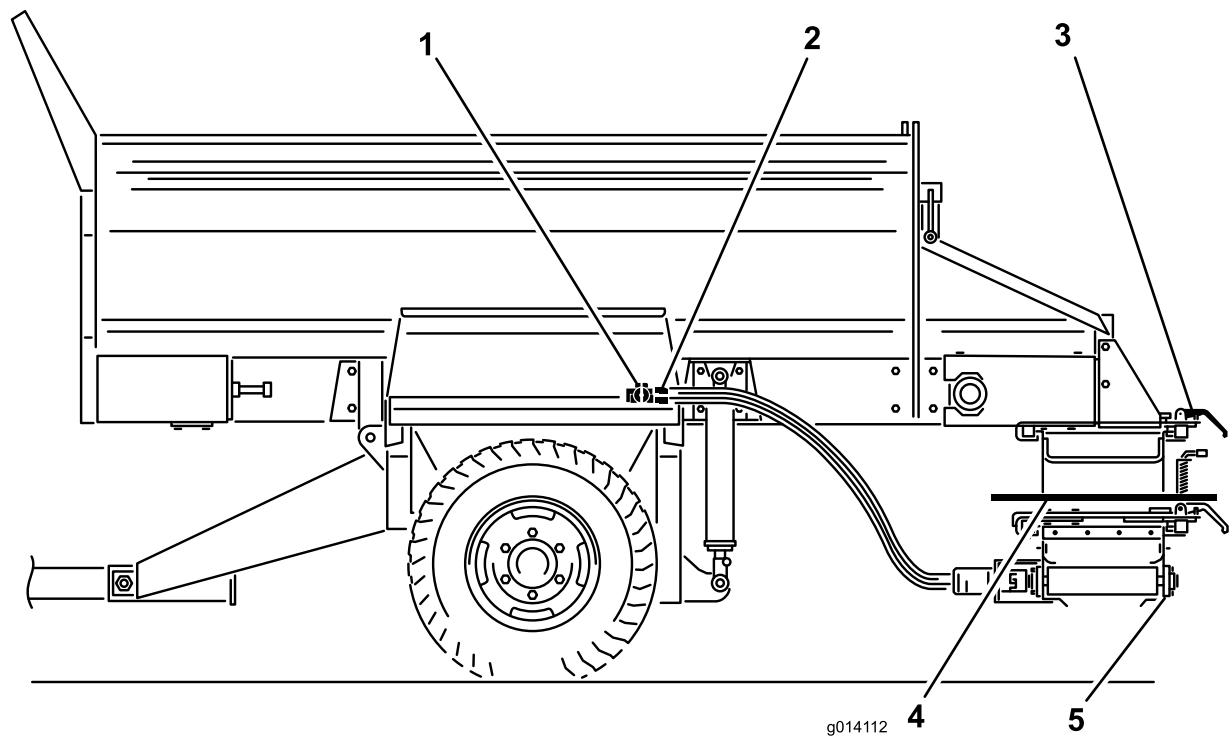


図 4

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. オプション制御バルブ | 4. スイベルキット |
| 2. ホースの接続 | 5. クロスコンベア |
| 3. クイックアタッチクランプ | |

運転操作

クロスコンベアを使用する

収納位置からの引き出しと使用後の収納

▲ 注意

移動走行を行う際には、必ずコンベアを収納位置に戻してコンベアを伸ばしたままで走行すると、周囲の人や物にぶついたり、コンベアを破損したりする恐れがあります。

1. スイベルキットの左右についているアタッチメントクランプから安全ピンを抜き取る。
2. アタッチメントクランプのブラケットをゆるめる。
3. コンベアを中央部または片側へスライドさせる。
4. アタッチメントクランプのブラケットをロックする。
5. 安全ピンを取り付ける。
6. SH モデルでは、クロスコンベアのベルト速度の調整は、右側の油圧レバーで行う。EH モデルでは、無線リモコンでクロスコンベアのベルト速度の調整を行う。

注 クロスコンベアの調整は、必ずホッパーを下げてください。ホッパーを上げたままで行うとクロスコンベアが傾いてしまいます。

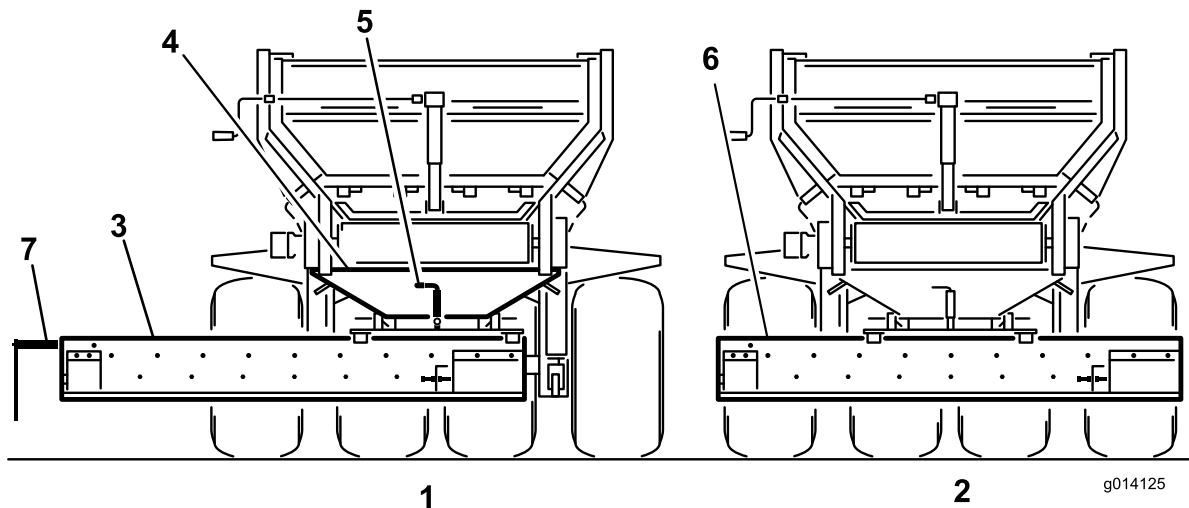


図 5

1. コンベア作業用に引き出した状態
2. 移動走行用に収納した状態
3. クロスコンベア
4. スイベルキット

5. スイベル用ロックピン
6. デフレクタ外すことも可能
7. 資材出口モーター側端部

クロス・コンベアを使って資材を投下する

1. 牽引車両を停止する。
2. SH モデルでは、コントロールレバーを使ってクロスコンベアのベルトとフロアベルトを ON にセットする資材搬出側にする。
3. リアゲートの開き具合を調整して資材の流量を調整する。希望通りの流量投下量に調整するのに少し練習が要るかもしれません。ゲート調整以外に、資材の種類、移動しながら投下する場合には移動速度によっても変わります。
4. 牽引車両の油圧装置をスタートさせる。
5. SH モデルでは、牽引車両の油圧装置を停止させるかペンダント・スイッチを OFF にすると、資材の流れが止まる。

注 SH モデルでペンダント・スイッチを OFF にすると、フロア・ベルトが停止して資材の流れが止まりますがクロス・コンベアは停止しません。

6. EH モデルでは、無線リモコンでクロス・コンベアとフロア・ベルトの両方の操作を行うことができます。
7. クロス・コンベアを使い終わったら、必ず中央の収納位置に戻す。

スイベルキットの使用方法

スイベルキットについているスプリング式のロックピンを引き上げると、クロスコンベアを手で自在に旋回させることができるようになります。クロスコンベアの旋回範囲のどこにでも資材を投下することができます 図 5。

クロスコンベアを一定の旋回角度に固定するには、全部で 5 ヶ所あるロック穴の 1 つにスプリング式のロックピンを落とし込みます。

注 不整地を移動する場合には、安全を確保できる高さまで装置を上昇させて、クロスコンベア/スイベルの地上高を十分に確保するようにしてください。

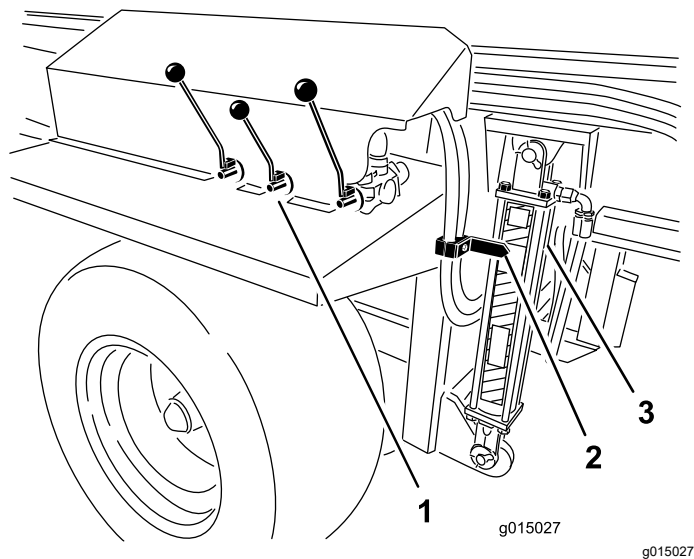


図 6

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 油圧コントロール | 3. シリンダ |
| 2. 矢印 | |

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44938	—	MH-400 コンベア/スイベル/キャディ	MH-400 CONVEYOR/SWIVEL/CADDY	MH-400 コンベア/スイベル/キャディ	2006/42/EC, 2000/14/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 9, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する規制に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44938	—	MH-400 コンベア/スイベル/キャディ	MH-400 CONVEYOR/SWIVEL/CADDY	MH-400 コンベア/スイベル/キャディ	S.I. 2008 No. 1597, S.I. 2001 No. 1701

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する規制等に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 9, 2022

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

